



BNI 三重リージョン ニュースレター

【2016年10月号】

【BNI公式ポッドキャストより】

ルール、ルール、どこにもそこにもルールばかり

By Dr.Ivan Misner

このタイトルは思いつきです。70年代に青春時代を過ごした人間ですから。高校に行ったのは70年代初頭ですが、「どこにもそこにも標識ばかり」という歌がありました。ファイブ・マン・エレクトリカル・バンドです。ロックの曲ですね。今日のポッドキャストのタイトルは、この歌のタイトルから来ています。

ルール、ルールというのはBNIの事です。BNIはルールが多いというコメントをよく聞きます。BNIはルールばかりだと。今日はそれについてお答えします。

そのとおり、BNIにはルールが沢山あります。ルールがある理由、それはネットワーキング組織として成功するためにルールが欠かせないからです。以前ポッドキャストで【メンバーのルールは全てメンバーによって、国際顧問理事会を通じて作成又は承認されている】とお話ししました。国際顧問理事会は、私が今いるイタリアも含め、世界中のメンバーで構成されています。ガイドラインも全てメンバーの手で作られてきました。

何百人、何千人の起業家が世界中で毎週集まりますが、それは猫の集まりに少し似ています。経営者はルールが大嫌いですから。その気持ちは良く分かります。でも、目的あつてのルールです。ルールのないアイスホッケーは、さしずめ氷上のボクシングでしょう。ルールのないBNIは、テーブルのない井戸端会議と変わりません。

ルールがあるのは、プロセス、構造を支え、チームの目標達成を後押しするためです。毎週のネットワーキング・プログラムを成功させたければ、構造のしっかりしたシステムが必要です。

私の本【Masters of Success】では、大きな成功を収めた沢山の人にインタビューを行いました。インタビューをした人たちに共通していたことの一つ。それは成功した人たちは、結果を出すためのシステムづくりをしてきた、ということです。

BNIもシステムです。正しく運用されれば大きな結果が得られます。それは構造がしっかりしているからこそ、得られる結果です。構造があるにも関わらず出る結果、ではありません。ただ、ルールの運用についてはさらに議論が必要でしょう。

私はシステムやプロセス、すなわち方針に従うことが重要だと固く信じています。ただしBNIのやり方はファシストとは違います。これはとても大事な点です。

BNIのやり方はファシストとは違います。こう言うと、周りの人は別の方向を向いても良い、と言っているように聞こえるかもしれませんが、それは誤りです。そうではありません。厳しい愛情を持った運用が必要だ、という話です。構造やシステムの運用には、メンバーに対するケア、細心のケアが欠かせません。ムッソリーニではなく、マンデラのやり方です。

間違ったことをしているから除名だ、ではなくリーダーシップチームには、こんなやり方をお勧めします。まず、そのメンバーに「改善が必要です。」と明確に伝えて下さい。その上で、こう尋ねて下さい。「そうするために、我々に出来ることはありますか？」と。「私たちがサポート出来ることは何ですか？」と。

とても効果的な方法です。妥協は無用です。責任はそのメンバーにあります。その上でケアとサポートを提供する訳です。しっかり責任を自覚してもらった上での、ケアとサポートです。

高みを目指す機会が開けている時、凡庸に甘んじる手はありません。BNIにはその機会があります。それはグループの厳しい愛情で達成できるものです。リーダーシップチームのやり方が厳しすぎる／甘すぎると思う人がいたら、自分でリーダーシップチームに立候補してみてください。メンバーを気遣い、それでいて責任を持たせるのは、体得に時間のかかる技術です。リーダーシップチームの仕事をサポートするサポートチームに立候補してみてください。【サポートのない批判は破壊的、批判のないサポートは建設的】です。リーダーシップチームをサポートして下さい。

もしリーダーシップチームがプログラムに沿って活動していないのなら、一から出直すべきでしょう。まっさらな状態からね。メンバーにこのリーダーシップチームはプログラムに沿って活動してい

ないと言ってください。欲しい結果が出ていないのは、それが理由かもしれません。メンバーに言ってください。求める結果を出すために、触先を巡らし、プログラムに沿って出直すと。

一番大事なものは、メンバーのケアを怠らずに行うことです。ヘルプが必要な人、サポートが欲しい人のそばにいて下さい。仕切り直しを行うにあたり、地域のディレクターにも入ってもらい、サポートしてもらってください。実績のあるチャプターだとしても、BNIディレクターはその実績を更に押し上げるべく協力してくれるはずで、そして何よりも、メンバーをケアしながら責任をいつも自覚してもらうための手助けをしてくれます。

ルールがあること、そしてそれがメンバーのケアとサポートを伴って運用されていること。これこそ、BNIが何千ものチャプターを持ち、世界中の何十もの国に展開するまでに成長した理由に他なりません。メンバーへのケアを伴ったルール。これこそ、システム、プロセスの礎であり、結果を出すための原動力です。ルールが無ければ、ゲームは成立しないし、結果も出ないでしょう。

もう一つ話しておきます。私は全く我慢がききません。全くダメですね。随分訓練しましたが、それでもまだ世界一我慢強い人間とは言えません。口を閉じて話を聴く、ということ学ぶのに、相当な訓練、実践、失敗を積んだのですけれど。そして人の話を最後まで聴く、ということですね。この話は以前のポッドキャストでしましたが、一つ信条があります。若いころに、母が文鎮をくれました。今でも自分の机に置いてあります。【社交性とは、相手が自分の話の先を盗むのを許すことである。】

成功している他の人を正しい方向に導きたければ、ケアを怠らず、集中して、社会的に取り組む必要があります。そうすれば目覚ましい結果が得られます。

というわけで、この【ルール、ルール、どこにもそこにもルールばかり】が、ルールの大事な理由、そしてそれがどうして大きな議論になるのか、といったことを理解するのに役立てば幸いです。

【BNI三重リージョンニュース】

11月10～12日の日程でBNIグローバルコンベンションが開催されます。毎年カリフォルニアで開催されますが、世界50ヵ国以上からディレクターが参加し、情報の更新や経験を共有します。私（坪井）は7年目の参加になりますが、世界各国の成功事例を

聴けるこの機会を楽しみにしています。今年はインドとフランスの成功事例に注目しております！！

アメリカやイギリスの経験を積んだディレクター、ケニアやブラジルの陽気なディレクター、フランスやオーストラリアの物腰の柔らかいディレクター、日本好きなドイツのディレクター、英語での意思疎通がままならないアジアのディレクターなど、世界各国から毎年恒例の参加者がいます。

学んだ情報を報告する機会は11月16日18:00～のメンバーズフォーラムになります。世界最新の情報を得るため、ご参加いただけると嬉しいです。

【BNI 三重リージョン ディレクターより】 ※今月は木本真衣が担当します。

鈴鹿市のBNI七山チャプターを担当している木本です。

だらしなBODYを土屋アテナ的美BODYにすべく、パーソナルトレーナーにお世話になって、肉体改造しています。

「嫌いな言葉：我慢」

こんな私が好物のラーメン、カレー、パスタ、ピザ、パンを我慢できるのか・・・最初はそう思っていました。ただ、実際取り組んでみると、少し効果が出ると楽しくなって、我慢が苦痛でなくなり習慣になってきました。制限するものを嘆くのではなく、食べられるものを探すと結構あるものです。

筋トレも前回よりできることが増えていると、どんどんハマってしまいます。

BNIにおいても同じだなと感じました。最初はまず、「早起きできるのか？」から始まり、次第に習慣となりました。また、ポッドキャストの内容にもあるように、ルールを最初は窮屈に感じて、それが自分自身やチャプターメンバーが結果を出すための原動力となることが実感できれば、ルールを守ることが誇りにもなるのではないのでしょうか。

何より大切なのは、楽しみを見つけることだと思います。「毎週定例会に積極的に参加する」「リファーマルを提供する」「ビジターを招待する」「チャプター発展のために積極的に運営に参加する」etc. どんな良いこと、嬉しいことがあるでしょう。

せっかくやるなら、やらされるより楽しんでやるほうが成果も上がりやすいのではないのでしょうか。また、それが習慣になることで、目標達成がより加速し、さらなる高みを目指して成長していけると思います。

ぜひBNIを有効活用し、最大限の成果を引き出していただけると嬉しいです。

【編集者より】

BNIには何故ルールが多いのか。私自身も今回のポッドキャストの内容を読んで、なるほどと納得させられました。文化も生活も価値観も違う国で、それでもBNIが広まっているのはこのルールに守られているからなのですね。そして自分一人の力では限界があっても、他のメンバーや地域ディレクターのサポートが受けられる。これがBNIの良さであり、世界中に発展している理由でもあるのですね。今回のお話が更なるチャプター発展に役立ちますように。